

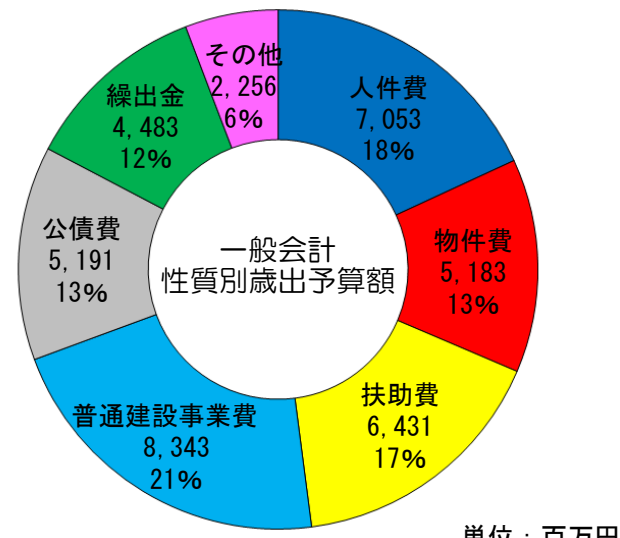
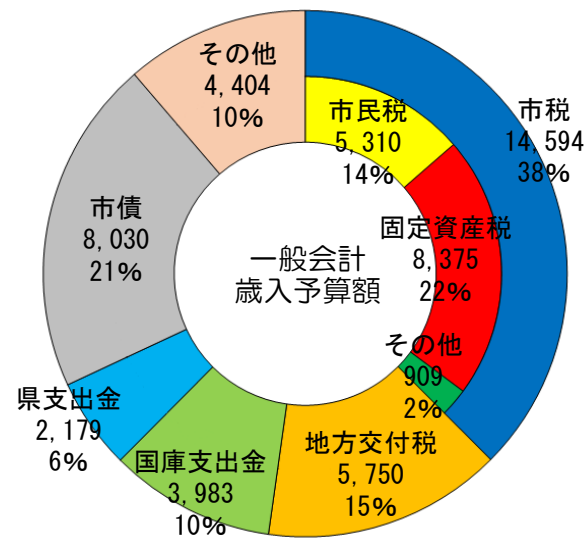
平成26年度 四国中央市の当初予算概要

平成26年度一般会計の予算規模は、389億4,000万円で、前年度に比べ40億4,000万円の大幅な増額となり、合併後最大規模の当初予算となりました。増額となった主な要因としては、消防防災センター建設事業（仮称）など平成25年度に債務負担行為を行った事業費として44億5,000万円を計上したことなどによるものです。

また、特別会計については、前年度比2.3%減の総額285億7,930万円となりました。介護保険事業特別会計では5億6,700万円の大幅な増額となりましたが、西部臨海土地造成事業特別会計、寒川東部臨海土地造成事業特別会計、国民健康保険事業特別会計などでは減額となっています。

一般会計及び特別を合わせた予算規模は、前年度より5.2%増加し、総額で675億1,930万円となりました。

| 予算規模 | 平成26年度予算 | 平成25年度予算 | 増減額 | 増減率 |
|---------|-------------|-------------|------------|------|
| 一般会計 | 389億4,000万円 | 349億円 | 40億4,000万円 | 11.6 |
| 特別会計 | 285億7,930万円 | 292億6,320万円 | ▲6億8,390万円 | ▲2.3 |
| 事業会計 | 112億7,800万円 | 83億6,180万円 | 29億1,620万円 | 34.9 |
| 財産区特別会計 | 749万円 | 754万円 | ▲5万円 | ▲0.8 |



単位：百万円

四国中央市議会議員政治倫理条例

本条例は、議員の政治倫理を確立し、地方自治の本旨にのっとり、市民の代表者として市政に携わる機能と責務を深く自覚するとともに、市民の信頼に値する倫理的義務を負うことを認識し、公正で開かれた民主的な市政発展に寄与することを目的として、平成23年4月1日から施行されています。

議員名簿(議長・副議長・委員会)

議長 山本 照男 副議長 谷内 開 ◎委員長 ○副委員長

| 常任委員会 | | | | 特別委員会 | | | |
|--|---|--|---|--|---|--|--|
| 総務 | 教育厚生 | 環境経済 | 建設水道 | 行政改革調査 | 議会改革調査 | 暮らしのまちづくり調査 | 議会運営委員会 |
| ◎越智 滋 ○後藤 光雄 大野 勝 三好 平 篠永 誠司 山本 照男 石津千代子 | ◎苅田 清秀 ○石川 剛 国政 守 宇高 英治 原田 泰樹 西岡 政則 三谷つぎむ | ◎飛鷹 總慶 ○三宅 繁博 河村 郁男 谷内 開 井川 剛 青木 永六 | ◎吉田善三郎 ○山川 和孝 眞鍋 幹雄 谷 國光 曾我部 清 石川 秀光 | ◎河村 郁男 ○大野 勝 三好 平 三宅 繁博 篠永 誠司 井川 剛 谷 國光 曾我部 清 | ◎宇高 英治 ○国政 守 後藤 光雄 山川 和孝 苅田 清秀 吉田善三郎 青木 永六 西岡 政則 | ◎石津千代子 ○眞鍋 幹雄 石川 剛 原田 泰樹 飛鷹 總慶 石川 秀光 越智 滋 三谷つぎむ | ◎曾我部 清 ○越智 滋 篠永 誠司 吉田善三郎 宇高 英治 青木 永六 飛鷹 總慶 |



四国中央市議会

第5回 議会報告会

平成26年11月29日（土）午後7時～（蕪崎公民館）

- 開会
- 議長あいさつ
- 議員自己紹介
- 市議会の役割について
- 平成26年度四国中央市の当初予算について
- 9月定例会報告
 - 総務委員会
 - 教育厚生委員会
 - 環境経済委員会
 - 建設水道委員会
- 質疑・応答
- 閉会



四国中央市マスコットキャラクター『しちちゅ〜』

四国中央市議会の役割

市役所は、福祉や教育、上下水道など市民生活に密着した仕事をしています。このため、市民の意見が市政に反映されなければなりません。

市を住みよいまちにしていくためには、市民が自ら考え、話し合い、問題を解決していくことが最も望ましい姿です。

しかし、市民全員が集まって話し合うことは実際には不可能です。そこで、選挙によって市民の代表者である「市議会議員」と「市長」を選び、市民に代わって市政を運営しています。

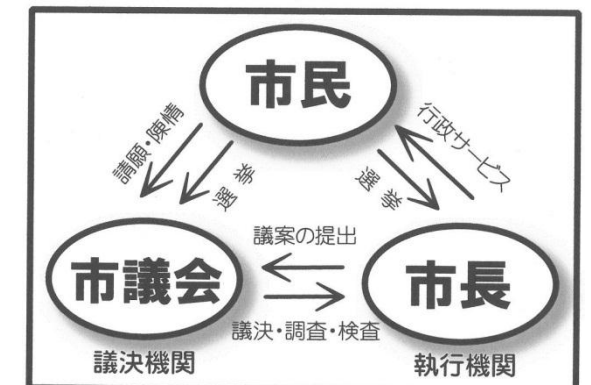
市議会は、市民から選挙で選ばれた議員で構成され、市長が提案する事業計画や予算、条例案などを市民の立場で決定する議事機関、また適正な事務執行を行っているかを市民の目線でチェックする監視機関としての役割があります。

市長は市議会の決定に沿って施策を実施することになり、市議会と市長は独立・対等な立場で、お互いにけん制・協力し合って、よりよい市政の実現を目指しています。

現在の四国中央市議会は、議員定数が26名で、議員の任期は平成24年11月28日から平成28年11月27日までの4年間です。

議長と副議長は、議員の中から選ばれ、議長は市議会を代表する最高責任者であり、議場の秩序を保ち、議事を整理し、議会の事務を処理します。副議長は議長に事故があるとき、または欠けたときに議長の代わりに職務を行います。

そして、市議会の運営を円滑に進めるために、議会には議会事務局が置かれています。議会事務局では、定例会、臨時会、委員会等の運営の補助や議会活動に必要な調査、会議録の作成、議会だよりの発行などの事務を行っています。



総務委員会

○平成26年度 四国中央市 一般会計補正予算〔所管分〕

【6月議会】

- ・市民文化ホール建設事業 8億3,900万円
市民文化ホール建設事業の契約に関して支払われる前払い金で、当初予算で不足している金額の差額分補正です。
※8月26日に行われた3回目の入札が不調となったため、市では市民文化ホール建設の基本から再検討に入っており、本予算については今後変更となります。

【9月議会】

- ・新庁舎建設事業 580万円
新たに庁舎を建設することについての先進地視察に係る旅費や基本計画策定支援委託料等です。
- ・消防防災センター建設事業 4,227万円
消防防災センター新築工事は、平成27年1月30日までの工期で行われており、来年4月1日から新しい施設での業務開始に向け、必要な備品類を整備するための備品購入費等です。
- ・避難対策支援強化事業 1,330万円
災害発生時に避難所において必要となる資機材や防災倉庫等の整備に対し、県より補助金が出ることとなったため、市内14カ所の避難所に設置する備品等の購入費です。

○四国中央市 火災予防条例の一部改正

昨年8月、京都府福知山市の花火大会で発生した火災事故を受けて、イベント時等での火気の取り扱いを定めたものです。

○地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決を定める条例の制定

議会が議決すべき事項に基本構想の策定を加えました。

○四国中央市旅客自動車条例の一部改正

民間路線バスの廃止に伴い、新宮町の福祉バス路線を変更したものです。



消防防災センター完成予想図

教育厚生委員会

○子育てについて、基準等を定める条例案3件

この3条例は、児童福祉法または子ども・子育て支援法の規定に基づき、放課後児童クラブや小規模保育事業等について、スペースや人員に基準を設けることにより、幼児や児童の健全育成に資することを目的に条例制定を行うものです。

○平成26年度 四国中央市 一般会計補正予算（第3号）〔所管分〕

- ・予防接種医師委託料 4,496万円
予防接種法施行令が本年7月に改正され、水痘及び成人用肺炎球菌の2ワクチンが定期接種として追加され、10月から接種が開始されることに伴い、これにかかる予防接種医師委託料です。

水痘ワクチン

1・2歳児が対象で、平成26年度に限り3・4歳児も対象となります。（全額公費負担）

成人用肺炎球菌ワクチン

65歳の方を対象とし、半額が公費負担です。

なお、経過措置として平成26年度は70～95歳までの5歳刻みの方及び100歳以上の方全員を対象とし、平成27～30年度については、65～100歳までの5歳刻みの方が対象となります。

- ・中学校施設耐震化事業 1億4,492万円
新宮小中学校新築工事着手に向け、建設予定地となっている旧新宮小学校の教室管理棟ほか解体撤去並びに擁壁設置に係る工事請負費等です。
〔新宮小中学校については、平成27・28年の2カ年で新校舎の完成を目指しています。〕

- ・土居文化会館整備事業 1,941万円
土居文化会館（ユースホール）駐車場への新たな進入路や十分な障害者用駐車スペースを確保するため、旧土居郵便局の敷地（市有地）に隣接する土地を購入し、駐車場の一体的な整備を図るための用地買収費です。

〔駐車場の整備については、平成27年度に計画を立て、できる限り早期に着手予定です。〕

環境経済委員会

○平成26年度 四国中央市 一般会計補正予算（第3号）〔所管分〕

- ・市単土地改良事業 2,764万円
蕪崎排水機場の除塵機等に係る維持修繕料及び西の江ゲート改修等に係る工事請負費を計上するとともに、土地改良区において実施する農道、水路等の改修に係る原材料費並びに補助金です。

【質疑応答のご紹介】

- （議員）新ふるさとづくり総合支援事業費補助金に係る多文化共生事業の内容は。
（答）本年2月に四国中央市国際交流ビジョンが策定され、その施策の一環として多文化共生事業を実施している。今年度は、日本語がわからない外国人が災害時に避難所へたどり着けるよう約600枚の防災カードを作成し配付する。
- （議員）農業振興費、伊予美人PR事業補助金の内容は。
（答）毎日新聞社主催の全国農業コンクールにおける農林水産大臣賞の受賞を契機として、より一層の消費拡大を図るため、新ふるさとづくり総合支援事業費補助金を活用し直径2メートルの大鍋やのぼりを作製し伊予美人をPRする予定である。

○平成26年度 四国中央市 駐車場事業特別会計補正予算（第1号） 1,500万円

市営新町駐車場のゲート化に伴う全自動料金精算システム設置工事及び現在使用している管理棟等の解体工事に係る費用です。

○平成26年度 四国中央市 後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第1号） 400万円

四国中央市が愛媛県後期高齢者医療広域連合から受託している後期高齢者に対する健康診査事業に係る費用です。

○訴えの提起について

医師免許なく行った医療行為に関し、保険医療を行ったものとして不当に請求した医療報酬等の返還を求めるものです。〔普通地方公共団体が訴えを提起する場合は、議会の議決が必要となります。〕

建設水道委員会

○平成26年度 四国中央市 一般会計補正予算（第3号）〔所管分〕

- ・道路橋りょう費 4,585万円（道路維持費 2,885万円、道路新設改良費 1,700万円）
道路維持費のうちの支障物件補償費は、道路新設に伴いN T T柱や電力柱が支障になるため、N T Tや四国電力に移転してもらうための費用です。
- ・港橋 橋梁改修事業 4,904万円（長さが44.35メートルで、1年遅れの工事になっている）
現在、橋脚を施工しており、11月に完了予定です。その後、上部工の桁の製作と架設、舗装や高欄の設置を行い、平成27年度末の供用開始を予定しています。

○平成26年度 四国中央市 下水道事業 特別会計補正予算（第2号） 1,600万円

昨年9月の豪雨で下水道の数カ所に浸水被害が発生したため、浸水が発生する原因を分析し浸水対策方法を検討した結果、今後、実施設計を行い、それに伴う工事費の計上となります。

○平成26年度 四国中央市 水道事業会計補正予算（第2号）

債務負担行為の補正として、平成26年度から31年度までの6年間、限度額1億4,468万円に物価変動による増減額並びに消費税及び地方消費税を加算した額を補正します。

○平成26年度 四国中央市 港湾上屋事業 特別会計補正予算（第2号） 1,800万円

当初予算は上屋の屋根についてのみの設計委託料の計上でしたが、調査を進めていく中で外壁もかなり傷んでいるので、同時に工事する方法に変更する形となり、今回、設計委託料を増額しました。

○土地の処分について 処分価格 4億1,037万円（6,317平方メートル）

金子地区臨海土地造成地の土地を処分することに伴い、議会の議決に付されました。

処分方法 随意契約（@6万4,960円/㎡）

処分の相手先 大王海運株式会社 代表取締役 玉井一郎

○四国中央市 川之江浄化センター（長寿命化）の建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について

| | | | |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 協定の相手方 | 日本下水道事業団 | 変更前の委託金額 | 4億3,980万円 |
| | 理事長 谷戸 善彦 | 変更後の委託金額 | 4億980万円 |